

630 奈良市高畑町 奈良教育大学自然教育演習室発行

TEL 0742-27-9207

ホタル

一条高校に生息するアブラコウモリを観察に行った時、6月8日夜12時近く、一条高校のグラウンドの北東部、24号線沿いに4-5匹のホタルの点滅を教育大学4回生の遠藤正宏君と竹田直樹君が見ました。おそらくヘイケボタルだろうという話でした。

(前田喜四雄)

カブトエビ、ハウネンエビ、カイエビ

6月11日午後、タイトルのような比較的原始的な甲殻類を採集しに行きました。ミジンコに近い仲間のようです。いずれも、田んぼに水を張ると、どこからともなく発生してくる不思議な生き物です。カブトエビは白豪寺近くの田んぼで、ハウネンエビは白豪寺町にある教育大学附属農場で、カイエビは大和高原の須山の田んぼで捕りました。飼育の秘訣を友だちから聞いたので、何とかうまく飼育して研究室内で一年に何回も発生させたいと思っています。

(前田喜四雄)

6月11日

学校から帰って、高円山登り口へ行きました。奥にある池でカワセミを2羽見ました。アメンボ、シオカラトンボ、モノサシトンボ、サトキマダラヒカゲもいました。

続いて春日大社横を通り若草山に登りました。頂上まで1度も止らずに自転車で登りました。ヒヨドリ、コゲラ、アオゲラ、エナガ、シジュウカラ、カラ類、オオルリ、イカルを見ました。

(前田健)

春日山～若草山

6月14日夕方、春日大社の北側から若草山に登りました。カッコウが「カッコー、カッコー」と鳴いていました。他に、イカル、オオルリ、キビタキ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コゲラ、ヒヨドリ、ヒバリ、ハシブトガラス、ツバメ、スズメ、ムクドリを見ました。アカシジミとアカタテハもいました。

6月16日夕方にも同じ所へ行きました。アオゲラ、オオルリ、キビタキ、ヒバリ、ツバメ、スズメ、カラ類、ハシブトガラスを見ました。帰りに春日大社でアオバズクの声聞きました。

(前田健)

ホトトギス

毎日のように、教育大学内にホトトギスの鳴き声が聞えてきます。6月16日、17日、

18日、19日に聞きました。但し、やはり朝早くか、夕方から夜にかけてがよく聞えます。
(前田喜四雄)

ビロウドハマキ

教育大学内で、6月17日と19日にビロウドハマキを見ました。羽を広げると4cmぐらいの小さなきれいなガです。図鑑に、「6月と9月とに出る。大樹のうっそうと茂った森林に多くおり、昼間に樹上を飛び、特に丘の頂に集る様である。近畿とその近くに多く、四国・九州にも居るといふ。」と書いてある。このガが教育大の中でも見つかるのは、近くに春日山原生林があるからでしょう。
(前田喜四雄)

カノコガとコシアキトンボ

6月21日夕方、白毫寺町の田んぼにカエルの観察に行った教育大学4回生の安本蘭子さんと西川由紀子さんが、道に転がっていたカノコガとコシアキトンボのメスを拾って来ました。標本にしました。
(前田喜四雄)

チョウ このごろ

この頃、教育大学の建物の中によくチョウが入ってきます。6月4日にはサトキマダラヒカゲ、10日にはヒカゲチョウ、19日にはコジャノメ、24日にはベニシジミといった具合です。なお、ベニシジミはもう夏型でした。

教育大学正門を少し下がった幸町のバス停留所近くのヤナギの街路樹に、21日昼前、コムラサキが産卵していました。卵を1個だけもらってきました。

22日に教育大学新館3号横で、アカシジミを捕りました。食草はクヌギやコナラですが、どこで発生しているのでしょうか。モンキアゲハも見ました。(前田喜四雄)

プールの水生昆虫

教育大学附属小学校のプールの水かえがせまったので、6月22日昼にそこにいる水生昆虫の観察をしました。前回(5月30日)はほとんどが幼虫ばかりだったマツモムシがすべて成体になっていました。たくさんいた小型のガムシやゲンゴロウの姿がまったく見られませんでした。あんなに数多くいたコシマゲンゴロウもわずかしかなかった。相変わらず多かったのはコミズムシの仲間(コミズムシ、ハラグロコミズムシ)だけでした。他に観察したのは、コガムシとアメンボだけでした。

土曜日の午後、水抜きが始まりました。
(前田喜四雄)

オオムラサキ発見！

6月19日午前10時半ごろだった。旧柳生街道の入口で、ヒラヒラ飛ぶチョウを見つけた。それは、割合大型で一見真黒であったが、光に照されるときれいな輝きのある何とも言えないブルーの羽をしていた。私はそのチョウの羽の色に心を奪われたような気がした。本当に美しかった。
(吉田知佐子)